

第5学年 道徳学習指導略案

1組 計39人(男子17人, 女子22人)

指導者 諸平幸奈

- 1 主 題 名 相手の立場を考えて (B 相互理解, 寛容)
教材名「すれちがい」(学研教育みらい5年)

2 主題について

(1) 主題の位置とねらい

相互理解とは、自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、自分とは異なる意見や立場でも広い心で受け止め、相互に認め合いながら、相手への理解を深めることである。寛容とは、自分も過ちがあると自覚し、寛大な心をもって他人の過ちを許すことである。本主題では、相手の状況を考えて、受け止め、よりよい人間関係を築いていこうとする考えを見付けていくこととなる。そこで、よりよい人間関係を築くために、自分の考えを伝えながら、相手のことを受け止めていくことの大切さに気付くことができるようにする。

(2) 全体計画(別葉)における本主題の位置付け

【全体計画(別葉)】

国語「明日をつくるわたしたち」[コラム] 意見が対立したときには(9月):
よりよい暮らしのために、自分たちにできることやしたいことを話し合い、提案書に書く。
学級活動「よりよい学級にするために」(11月): 学級での問題を解決するための方法を話し合う。

【本 時】

「相手の立場を考えて」 [B 相互理解, 寛容]
『すれちがい』 ※ 相手を受け止める(受容)

【家庭や地域社会との連携】

道徳ファイル, 学級通信, 教育相談, 学級PTA, あいご会活動

3 子供の実態

本学級の子供たちは、学習の中で話し合いをする際、自分の考えを友達に伝えたり、相手の考えを受け止めたりする経験をしている。しかし、日常生活の中で、友達とけんかをしてしまったり、意見が食い違ったりしたときに自分の考えを伝えられなかったり、相手の考えを受け止められなかったりした経験がある子供も多い。違う意見でも相手の状況を自分なりに考え、受け止めることでよりよい人間関係を築くことにつながると考えることができるようにする。

4 教材について

この教材は、ピアノのけいこと一緒にいく約束をしたよし子とえり子が、急な用事や勝手な思い込み等ですれちがいが生じ、その後、相手の状況などを聞くこともしなかったため、けんかになってしまう話である。自分の立場だけでなく、相手の状況を考えて、受け止めたりすることで、よりよい人間関係を築いていくことができるよう本教材を活用する。

5 指導に当たって

(1) 対話を重視した「学び合い」【研究内容1】

ア 学年や学習内容に応じた対話を重視した「学び合い」の設定

それぞれの立場だったら自分はどうすればよかったかグループで議論し合う「磨き合い」の場と、二人がよりよい関係を築くために必要なことは何か考えをまとめる「認め合い」の場を設定することで、自己との関わりで考えたり多面的・多角的に捉えたりすることができるようにする。

イ 子供同士で考えを広げたり深めたりするための手立て

グループごとに読む教材を変え、その後もう一つの教材を読むことで、自分と相手の状況を捉えやすくし、相手とよりよい関係を築くための考えをもつことができるようにする。

(2) 学びの自覚を促し、次につなぐ学習指導の工夫【研究内容2】

ア 学びの自覚を促す手立て

本時で考えたことを基によし子とえり子にあてた手紙を書くことで、相手の状況を考えて、相手を受け止めるための自分の考えを具体化し、自己の学びを自覚することができるようにする。

イ 次につなぐ手立て

「高める」過程で周囲の人に対する「相互理解, 寛容」について考えることで、実生活で生かすことができるようにする。また、活用したワークシートを道徳ファイルに綴り、朝の活動時に振り返ることで、本時で考えたことを話し合い活動や休み時間等に生かすことができるようにする。

6 本 時

(1) ねらい 相手の状況を考え、相手を受け止めることよき気づき、よりよい人間関係を築いていこうとする心情を育てる。

(2) 展 開 教師の言葉掛け 子供の反応 重点評価項目 ☆ICT 活用上の留意点

過程(分)	主な学習活動と予想される子供の反応	教師の指導
<p>気 付 く (5)</p>	<p>1 日常生活の中で相手の考えを受け止めることができているか考える。</p> <p>生活の中で、相手の考えを受け止めることができますか。</p> <p>・ 昼休みに何の遊びをするかで言い合いになり、相手の考えを受け止められなかった。だって、自分がしたい遊びをしたいから。</p> <p>それは、よりよい関係と言えるでしょうか。</p> <p>2 本時のめあてを立てる。</p> <p>相手とよりよい関係を築くためには、どうすればよいだろうか。</p> <p>3 グループごとにそれぞれの立場で、よし子とえり子の気持ちと関係について考える。</p> <p>(1) それぞれの立場になって、気持ちを考える。</p> <p>・ もう一緒に行きたくない。 ・ 許せない。</p> <p>・ 事情があるのに、ひどい。 ・ 話もしたくない。</p> <p>(2) 二人の関係について考える。</p> <p>・ 本当は仲がよいはずだけど、思いを伝えられていない。 ・ 自分のことだけを考えてしまって、相手を思いやれていない。 ・ 気持ちがすれちがってしまっている。</p> <p>4 相手とよりよい関係を築くために必要なことを話し合う。</p> <p>(1) 読んでいない日記を読み、それぞれの立場で必要なことをグループで考える。【「学び合い」(磨き合い)】</p> <p>自分がよし子やえり子だったら、どうすればよかったと思いますか。</p> <p>よし子</p> <p>・ 勝手に決めず、もう少し待てばよかった。 ・ どうしても連絡ができなかったことは、仕方がない。</p> <p>えり子</p> <p>・ 早めに待ち合わせの時間を電話すればよかった。 ・ たくさんの時間待ってくれていたことに感謝しよう。</p> <p>(2) 相手とよりよい関係を築くために必要なことについての考えを全体でまとめる。【「学び合い」(認め合い)】</p> <p>相手とよりよい関係を築くために必要なことは何でしょうか。</p> <p>・ 自分のことだけでなく、相手のことも考えてあげる。 ・ 相手の状況を受け止めて、話し合う。</p> <p>(3) よし子とえり子にあてた手紙に、相手とよりよい関係を築いていくためのアドバイスを書く。</p> <p>・ 相手の話を聞いて、自分の考えも伝えればよいかも。 ・ 違うと思っても、まずは話し合うことが大切なんだよ。</p>	<p>○ 国語の「意見が対立したときには」の学習を振り返り、学習の中ではできても、生活の中では相手の考えを受け止められないことがあるということに自覚することができるようにする。</p> <p>○ グループごとによし子とえり子どちらかの日記を先に読むことで、それぞれの立場で考えることができるようにする。</p> <p>○ けんかをしてしまった二人の関係がよりよい関係ではないことを捉えさせることで、相手とよりよい関係を築くためにはどうすればよいか問題意識をもつことができるようにする。</p> <p>○ 読んでいないもう一つの日記を読み、相手の状況を知った上で、二人がよりよい関係になるために、自分がそれぞれの立場だったらどうすればよかったのかを考えることができるようにする。</p> <p>☆ それぞれのグループの考えを電子黒板を活用して提示することで、全体で考えを共有することができるようにする。</p> <p>○ 「磨き合い」の場でグループごとに考えたことを、「認め合い」の場で共有することで、相手とよりよい関係を築くために必要なことを考えることができるようにする。</p> <p>○ 考えたことを具体化して手紙に書くことで、よりよい関係をこれからも築いていくための意欲を高めることができるようにする。</p> <p>○ 本時で考えたことを基に、「主題について考えたこと」、「生かしたいこと」をワークシートにまとめることで、自己理解を深めることができるようにする。</p>
<p>見 つ め る (30)</p>	<p>相手とよりよい関係を築くために必要なことは何でしょうか。</p> <p>・ 相手の話を聞いて、自分の考えも伝えればよいかも。 ・ 違うと思っても、まずは話し合うことが大切なんだよ。</p>	<p>◆ 相手とよりよい関係を築くための自分なりの考えをもち、今後どのように生かすか考えることができたか。【発言、ワークシート】</p>
<p>深 め る (5)</p>	<p>5 相手とよりよい関係を築いていくための自分の考えと、今後どのように過ごしていきたいか自分の考えをまとめる。</p> <p>相手とよりよい関係を築くために、自分の考えも伝えつつ、相手の話をよく聞き、受け止めていきたい。</p> <p>自分勝手に決めつけるのではなく、相手の状況を考え、相手を思いやって、よりよい関係を築いていきたい。</p>	<p>○ 生活の中で周囲の人とよりよい関係を築いていくための具体的な考えをもち、実践意欲を高めることができるようにする。</p>
<p>高 め る (5)</p>	<p>6 周囲の人とよりよい関係を築くための考えをどのように生かすか考える。</p>	<p>○ 生活の中で周囲の人とよりよい関係を築いていくための具体的な考えをもち、実践意欲を高めることができるようにする。</p>

第5学年「相手の立場を考えて（B 相互理解，寛容）」における「学び合い」想定シート

「学び合い」の目的

相手の状況を考え、相手のことを受け止め、よりよい関係を築くために必要だと思うことを出し合い、自己との関わりで考えたり、多面的・多角的に捉えたりすることができるようにするため。

「学び合い」の方法

形態	グループ→全体	思考を可視化する手立て	ワークシート，電子黒板
----	---------	-------------	-------------

「学び合い」で期待される子供の姿

強固	「相互理解，寛容」に関する考えを友達と伝え合うことで、自分の考えのよさに気づき、自信をもつことができる。
付加	「相互理解，寛容」に関する考えを友達と伝え合うことで、その理由や根拠，具体例等から新たな考えに気付いたり、自分の考えに取り入れたりすることができる。
修正	「相互理解，寛容」に関する考えを出し合い、新たな考えに触れることで、そのよさを自分の考えに取り入れることができる。

「学び合い」の手順

磨き合い	① 自分がよし子やえり子の立場だったら、どのようにすればよかったか考えを書く。（ワークシートに記入） ② グループで考えを出し合う。 ③ 友達の考えを聞いたことを基に、自分の考えを付加したり、修正したりする。
認め合い	① グループで出し合った考えを、全体で出し合う。 ② 相手とよりよい関係を築いていくために必要なことについて、全体で自分の考えやその根拠，具体例等を伝え合う。

「学び合い」において育てたい見方・考え方

相手とよりよい関係を築くために必要な考えを、立場を明確にしながら、その理由や根拠，具体例を伝え合う。

【磨き合い】

〈子供の姿・教師の重点発問〉



自分がよし子やえり子だったら、どうすればよかったと思いますか。
【多様な考えを見いだす発問】

[よし子] 勝手に決めつけなければよかったなと思うな。だって、どうしても連絡できない状況だったんだもんね。



[えり子] 私はもっと早めに用事ができたことを連絡すればよかったと思うよ。だって、先に連絡をしておけば、嫌な気持ちにさせなかったし、けんかにもならなかったかもしれないからね。

自己との関わり

- 相手とよりよい関係を築いていくために必要な考えを、今までの自分の経験を基に考えている。

多面的・多角的な捉え

- それぞれの立場で相手の状況を考えながら、相手とよりよい関係を築いていくための考えと理由や根拠を交流している。

グループで交流した相手とよりよい関係を築くために必要な考えを出し合い、そのよさを捉えながらこれから大切にしていきたい考えを話し合う。

【認め合い】

〈子供の姿・教師の重点発問〉



相手とよりよい関係を築くためには、どんな考えが必要だと思いますか。
【主題に迫る発問】

自分の思いを相手に伝えながら、相手のことを考えて行動することが必要だと思うな。そうすれば、お互いに理解し合うことができそうだから。



何かあったときでも、相手の話を聞いて、その状況を受け止める心をもつことが大切だと思うな。だって、間違ふことは誰にでもあることだから責めることはできないからね。

これからは、相手のことを考え、話し合いながらお互いを受け止めていこうとすることを大切にしていきたいな。



自己との関わり

- 相手とよりよい関係を築いていくために必要な考えを、今までの自分の経験を基に考えている。

多面的・多角的な捉え

- 相手とよりよい関係を築いていくために必要な考えを出し合い、そのよさや意義に気づきながら大切にしていきたい考えを捉えている。

